

南三陸町で学ぶ II

—ふゆみずたんぼで再生・復活をはかる—

東日本大震災から1年半が経ち、被災地では緊急の物的支援から住み続けられるまちづくりへと、課題が移りつつあります。その中で、自然と人間とのかかわりをとらえなおそうという視点も意識されるようになりました。

そこで、南三陸町で学ぶフィールドワーク第2弾を企画しました。今回は、津波で被害に遭った水田を、ふゆみずたんぼ(冬期湛水水田)という農法を用い、生き物がたくさんいるたんぼによみがえらせようとしている取り組みに参加し、持続可能な地域づくりについて学びます。

ふゆみずたんぼとは...

「ふゆみずたんぼ」(冬期湛水水田)は、名前のとおり、冬のたんぼに水を張り、抑草効果や施肥効果を得て、稲を育てる農法のことです。

稲刈り終了後、たんぼに水を張り、春まで水を貯めておきます。稲の切り株やワラなどの有機物が水中で分解され、微生物や藻が発生し、それを餌とするさまざまな生物たちがたんぼに集まってきます。冬期間における生物の活動が「トロトロ層」という抑草効果のある層を作り出し、無農薬、無化学肥料で稲を育てていきます。

(宮城県地域振興課HPより)

日程：2012年11月3日(祝)～4日(日) 1泊2日

参加費：5000円程度(宿泊費2食付3500円、昼食代、保険代など。交通費無料)

宿泊先：神割崎キャンプ場(南三陸町) ※野外テント泊ではなく、コテージ泊になります。

講師及び指導：NPOたんぼ(宮城県大崎市) 理事長 岩渕成紀氏・ほかスタッフ

ふゆみずたんぼによる農地再生プロジェクトを宮城県下において実施中。

内容：南三陸町小森熊田地区のふゆみずたんぼにおける農作業

<行程概要>

11/3(祝)

7:00 学芸大正門出発 → 午後 フィールド到着 作業開始 → 夕方 宿泊先 (講義あり)

11/4(日)

朝 宿泊先出発 → フィールドにて作業 → 昼食(南三陸町復興商店街)

→ 作業再開 → 14:00 現地発 → 夜 学芸大正門到着

※申込をされた方には、行程や持ち物など詳細を追ってご連絡いたします。

定員：20名(先着順)

申込先：コカ・コーラ教育・環境財団寄附講義事務局(連絡先下記)

締切：10月15日(月) ※ただし、定員になり次第、締め切ります。

<企画/運営担当>

環境教育研究センター

担当事務局

コカ・コーラ教育・環境財団寄附講義事務局

担当：和田、福地

TEL&FAX 042-329-7874

E-mail : cocacola@u-gakugei.ac.jp